

# マーメイド通信

逗子市立図書館報  
第 117 臨時特大号  
2017 年 7 月 1 日発行  
逗子市立図書館  
逗子市逗子 4-2-10  
046 (871) 5998  
〔電話案内サービス〕

## 夏休みはみんなで図書館へ行こう！

### ☆科学あそび講座☆

7月24日（月）午前9：30～11：00

『電磁石でぴよんぴよんジャンプするおもちゃ作り』

講師：森裕美子先生

対象：市内在住・在学の小学4年生以上

定員：先着20名

申込：7月8日（土）午前9：00から  
図書館に来館して申し込みをください。

\*電話やファクス、分室での申し込みはできません。

\*申込者お1人につき、1人分（申込書1枚）の受付となります。  
一度に複数名分の受付はできません。



### ☆図書館探検クイズ☆

図書館の本を使ってクイズに答え、  
全問正解を目指しましょう。

クリアした人には景品を  
進呈します。

対象：小学生

\*低学年1～3年向け

\*高学年4～6年向け

期間：8月2日（水）～8月31日（木）

たくさんのお友だちの挑戦を待っています！



今年も図書館では楽しいイベントを用意しました。  
家族や友だちと、ぜひ、参加してくださいね！

### ☆夏休みおはなし会☆

大好評！！通常のおはなし会に加え、さらに8月23日（水）より

4日間連続でおはなし会があります。詳しくは最終ページをごらんください。



## 展示コーナー

#### ★一般展示

『冒険（アドベンチャー・未知なる世界へ）』

7月12日（水）～ 8月7日（月）

『汗と涙と友情と』

（体育会系・文科系青春読み物）』

8月9日（水）～ 9月11日（月）



1F

#### ★健康・医療情報展示：1階/雑誌コーナー脇

『涼、夏に負けない体をつくる』

7月12日（水）～ 8月7日（月）

『ちょっと気になる…』

（人に聞けない症状・病気）』

8月9日（水）～ 9月11日（月）



#### ★児童展示

『夏休みだからこそ読んでみよう！』

図書館からのおすすめ本』

7月5日（水）～ 9月4日（月）



#### ★郷土展示

『逗子の昔話』

6月14日（水）～ 8月7日（月）

『逗子・夏の賑わい』

8月9日（水）～ 10月9日（月）



2F

## 特別寄稿：「なぜ本を読むか、読みたいか」

なぜ本を読むのか？ なぜ読みたいくなるのでしょうか？ そもそも本はなぜ作られているのか？考えてみたことがありますか？

本を読むのは、読みたいと思うのは、本が作り出している世界に入り込んで、いろいろなことを知り、体験することができるからです。子どもも、大人もそれぞれの人が持っている経験や知識そして想像力を駆使して、本の世界に入って行って、自分の世界、自分だけの世界を築くことができるのです。夢中になればなるほど、その世界が楽しめるのです。

話題になっていて、図書館でもたくさんの方が予約している本に「蜜蜂と遠雷」があります。プロの判断で選ばれる直木賞と、読者を代表して評価している本屋大賞の両方を受賞した初めての本ですが、音楽を文字で表した作品と評価され、クラシック音楽のことが分からなくても、一気に読ませる魅力を持っていますし、本を読んでいるうちにその演奏曲の内容を知りたいとも思わせ、聴きながら本を読んだという人もいました。ピアノを習っている中学生が読みたいというのも分かります。

戦争も、原爆のこともそれなりに知っているつもりでしたが、「はだしのゲン」を読んだ時、そのショックは大変なものでした。小学生の目から見た戦争のこと、原爆のことが描かれ、当時の子どもたちはこんな体験をしてきた戦争だったのだ、という実感からでした。少し戦争のことを詳しく知りたいなら「それでも、日本人は『戦争』を選んだ」という本もあります。この本は栄光学園での講義を基にしてできていますので、中高生はもちろん、戦争を体験してきた世代でも、戦争を改めて考えるきっかけを与えてくれる本です。

フィクションですが、「落陽」という本を読んだ時に、明治維新の時の江戸(東京)というまちは、戦争で荒れ果て、武士は消え、住民は避難していて寂しいまちだった、明治神宮の森は人の手によってつくられたものだった、歴史では習わなかった初期の東京が、そんなことだったのかもしれないと思わせてくれました。そして今度は、本格的に明治初期の東京の街がどんなだったかを知ってみたいくなりました。

交通事故のために、記憶の蓄積ができなくなり、80分を超えると新たに記憶することができず、以前の記憶は消えてしまう。だからどうしても忘れていけないことはメモにし、背広にクリップで留めているという数学の研究者である博士。そこで働く家政婦、その10歳の息子で博士はルートと呼んでいる三人の、数字にまつわる物語は「博士の愛した数式」です。優勝請負人と言われた江夏豊投手の背番号は28。28を1とその他の割り切れる数字、つまり1,2,4,7,14を全部足すと28になります。これを完全数と呼びますが、非常に珍しい数字と教えてくれたのは江夏ファンの博士でした。

2011年の大震災のことを、小学校の低学年の子どもたちは、実体験としては何も知らないはず。今ではテレビが年に一回、『映像にご注意ください』というフリップ付きで津波の状況を伝えていますが、その時間に居合わせて、チャンネルを合わせていない限り見ることも、知ることもできません。でも、その時の状況を伝える絵本や、体験記があれば、子どもたちは、『なぜ避難訓練が必要なのか』、『その時どこに逃げたらいいのか』を知るようになります。

『うんとこしょ どっこいしょ それでもかぶはぬけません…』（「おおきなかぶ」より）みんなで声を合わせて読むことの面白さを伝えてくる絵本からは、読書は大勢で楽しむことができることを伝えています。「ぐりとぐら」もそんな本でもありますが、でも抱っこしてもらって読んでもらうことも楽しい本です。初めて出会う絵本は、読んでもらうことを前提として考えられています。経験を重ねると友だちと一緒に楽しむこともできるようになります。拾いながらも字が読めるようになると、一人で本の世界に浸ることの楽しさも知ることになります。いずれにしろ、この時代の子どもたちは、本は面白いから読むのです。

字を覚えるために本を読むのではなく、本の世界を知りたいから字を覚えるのです。楽しさ、面白さは、自分から誰かに伝えたくなるまで、その子どもだけのものなのです。感想や要約を聞く必要はないし、聞いてはいけません。大人に褒められるために本を読むようになってしまいます。

本をなぜ読むか。それは楽しいからです。知らない世界をのぞかせてくれるからです。たくさんの本を読めば、たくさんの経験ができ、新しい世界を知ることができ、それが読む人を幸せにしてくれているのです。

本はなぜ作られているのか。記録を残すためです。その記録は、その時その時に起きたことや、その時代の人たちが考えてきたことです。記録があるから、私たちは過去のことを知ることができるのです。紀元前の壁画もそうです。記録があるから古い時代のことが分かり、人類が発明したり、発見してきたことの積み重ねができ、新たな発明や発見が生まれるのです。そして何よりも、それが紙に記録されてきているので、その記録が残り、それを複製することで一度にたくさんの人が読め、発明や発見、そして考え方を共有できることになるのです。

（前逗子市立図書館長 小川俊彦）

#### 文中で紹介された本

「蜜蜂と遠雷」 恩田陸/著 幻冬舎 （Fオ）

「はだしのゲン(全10巻)」 中沢啓治/作 汐文社 （MA72 ナ 1-10）

「それでも、日本人は『戦争』を選んだ」 加藤陽子/著 朝日出版社 （210.6 カ）

「洛陽」 朝井まかて/著 祥伝社 （Fア）

「博士の愛した数式」 小川洋子/著 新潮社 （Fオ）

「おおきなかぶーロシア民話ー」

A.トルストイ/再話 内田莉紗子/訳 佐藤忠良/画 福音館書店 （Eサ）

「ぐりとぐら」 中川李枝子/さく 大村百合子/え 福音館書店 （Eヤ）



# 夏休み おはなし会

今年もやります、4日連続!

毎日通ってたくさんのおはなしをきいてね!

- 8月23日(水) 10:30~11:00  
「おなまえおしえて!」 出演: 逗子読み聞かせの会
- 8月24日(木) 10:30~11:00  
「ルピナスのおはなし会」 出演: ルピナスの会
- 8月25日(金) 10:30~11:00  
「こわーい おはなし会」 出演: 図書館職員
- 8月26日(土) 10:30~11:00  
「ダンボール de 紙芝居」 出演: 田中たまさん

## 小坪分室でも夏休みおはなし会があるよ!

7月28日(金) 10:30~11:00

## 図書館おはなし会のご案内

### 7月



- 土曜日おはなし会  
7月1日(土) 14:00~14:30  
おひざにだっこのおはなし会  
7月20日(木) 10:30~11:00  
わんぱくおはなし会  
7月20日(木) 15:30~16:00

### 夏休み小学生おはなし会

- 8月5日(土) 14:00~14:40  
おひざにだっこのおはなし会  
8月17日(木) 10:30~11:00  
わんぱくおはなし会  
8月17日(木) 15:30~16:00

### 8月



## <休館日のお知らせ>

### 7月の休館日

図書館 4日(火) 11日(火) 18日(火)  
分室 4日(火) 11日(火) 18日(火) 25日(火)

### 8月の休館日

図書館 1日(火) 8日(火) 15日(火)  
分室 1日(火) 8日(火) 15日(火) 22日(火)  
29日(火)

## 編集後記

そろそろ夏の楽しい計画を立てている最中でしょうか。我が家は毎年同じ場所へ旅行するのですが、今年は初めて、初日に子どもチームと親チームが家を別々に出発し、それぞれの行きたい場所を観光してから、夜に宿で合流するという企画を立ててみました。さあ、お互いにどんな発見があるか、企画段階の今から大盛り上がりです。皆さんも、楽しい夏休みになりますように! (Y.M)

## <図書館名画座映画会>

7月の名画座  
映画会は、  
お休みです。

『おさるのジョージ』  
8月22日(火)

開場 13:50 開映 14:15

87分 2006年 アメリカ

日本語字幕・吹き替え アニメーション

※小さなお子さまだけのご入場はご遠慮ください。

夏休みに  
家族で映画を  
楽しもう!



逗子文化プラザ1階 さざなみホール  
入場無料 先着100人まで(立見不可)

当日直接会場へお越しください。  
※来場者多数の際は早めに開場することがあります。

## きーすけ・ちゃらまるの 図書館探検 その二十四



きーすけ 「あーっ、オオカミに食べられちゃうよう。オオカミってネ「も食べるんだっけー!」

ちゃらまる 「もう、きーすけったらあ。このオオカミさんは子ヤギしか食べないの。」

きーすけ 「はい。ボクたちは図書館沼間分室に来ています。グリム童話の『オオカミと七ひきの子ヤギ』のお話が壁に飾ってあってすごい迫力だな。」

ちゃらまる 「七番目の子ヤギがかくれる柱時計もあるんだよ。」

きーすけ 「みなさん、ぜひあそびにきてね。」



☆毎号 ねこのあみぐるみきーすけとちゃらまるが図書館のあれこれをご案内します。

\*\*\*あみぐるみは『あみぐるみのいる生活』ねこやま著 主婦と生活社 594ネ

を参考にしています\*\*